

(*) 鎌倉市景観計画（構造別景観形成の方針 大船駅周辺拠点）

① 景観特性と課題

- ◇大船駅周辺は、JR 東海道本線・横須賀線・根岸線、湘南モノレール、路線バス等が集結する交通結節点として、商業・業務、サービス機能が高度に集積する都市拠点となっています。
- ◇近年では、松竹大船撮影所跡地に鎌倉女子大学大船キャンパスが開設し、隣接する鎌倉芸術館などの大規模施設と一体となった都市景観の形成がすすめられています。
- ◇今後は、鎌倉芸術館や市街地の再開発、大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ都市軸の形成などを核として、周辺の自然環境も活かしながら、地域全体について活力と快適性を備えた魅力ある都市景観を創出することが求められています。

② 基本方針

テーマ：文化の香り高い新しい鎌倉の顔づくり

1 古都鎌倉の新しい顔にふさわしい魅力ある都市景観の形成

- ◇古都鎌倉の新しい顔にふさわしい活力と快適性を備えた魅力ある都市景観の形成をすすめます。
- ◇大船駅東口周辺は、市街地再開発事業にあわせ、緑とオープンスペースを創出し、回遊性や仲通との一体性を高めた活力と賑わいの感じられる都市景観の形成をすすめます。
- ◇大船駅西口周辺は、西口整備事業に合わせてうるおいある駅前景観を創出するとともに、拠点緑地、柏尾川、大船観音などの景観資源を活かした、新しい顔づくりをすすめます。

2 都市軸を中心とした景観形成

- ◇鎌倉女子大学大船キャンパスの開設や大船駅笠間口の開設に伴い、大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ都市軸の魅力化を図るため、松竹通りや芸術館通り沿道は、快適で文化の香り漂う都市軸にふさわしい都市景観の形成をすすめます。
- ◇また、商店街や河川沿いの道路などは、魅力的なプロムナード整備をすすめ、安全で快適な歩行者空間のネットワーク化を図ります。

3 適正な土地利用の誘導と地域特性を活かした都市景観の形成

- ◇都市整備を契機に、適正な土地利用を誘導し、地域の特性を活かしたまともな都市景観の形成をすすめます。